

〔『法学新報』第29巻8（333）号 大正8年8月30日〕

○北海道中央大学生獅子吼会 中央大学生井川博通、山本政喜、谷村清太郎、宮脇信介、松本八助の諸氏は獅子吼会なるものを組織し此暑中休暇を利用して北海道に渡り七月二十五日は札幌時計台に於て、同二十七日は浦臼村聖園小学校に於て、同二十八日は岩見沢千代田館に於て、同二十九日は新十津川村に於て、同三十日は深川深川座に於て、八月一日は旭川に於て演説会を開催したるか各地とも非常の盛況にて三百名以上の聴衆あり火の如き同志の熱弁は全道の人心を動かすこと甚しかりしか如し一行の各地に到着するや學員其他有志諸氏の熱心なる後援を得たるか就中札幌に於ては東武、中津井高助、戸石正憲、本田勇、村田不二三、濱田和三郎の諸氏、浦臼に於ては東英治、川合藤太郎、青年会幹事諸氏、岩見沢に於ては高柳廣造、名島武治、青年団幹事諸氏、新十津川に於ては西村直一、青年会幹事諸氏、深川に於ては山本町長、旭川に於ては岡田天洞、入山知一、板井一治、山崎有信、中山恒三郎、峰木銀次郎諸氏、小

樽に於ては小町谷純、秋山常吉、小川千里、奥村數次郎、山田辰之進、磯野進、徳田堅彌、永井徳太郎、馬場牧次郎諸氏大に尽力せられ一行の感激措く能はざる所なり茲に芳名を録して謝意を表す（一行の一人投）